

 <p>全大教 島根大学職員組合</p>	<p>くみあいニュース (全学配布版)</p>
 <p>shimadai chan</p>	<p>2012年度 第11号 2013年6月5日 島根大学職員組合広報部 内線 2198, ダイヤルイン 32-6407 E-mail: union-s@sula0043.soc.shimane-u.ac.jp http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html</p>

島根大学職員組合アンケート集計結果 ダイジェスト版

2012年11月に職員組合が行ったアンケートの集計と解析が終わりました。アンケートにご協力いただいたみなさまに感謝します。ここでは結果の要点だけをお伝えしますが、詳細を知りたい方はホームページの資料室をご覧ください。



<http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html>
でホームページから資料室に入るとアンケートの詳細を読むことができます。

1. アンケート回収数

島根大学の正規職員はおよそ 2000 人、パートや契約職員はおよそ 500 人です。回収数は 530 枚なので、20%程度の回収率となります。属性別の回答数は以下の表に示したようになります。

	松江	出雲
教員	133(33)	72(15)
職員	129(71)	186(129)

	松江	出雲
20代	21(16)	33(21)
30代	81(40)	85(54)
40代	68(23)	77(44)
50代以上	94(26)	67(27)

2. ラスパイレス指数に関する調査

(1-1) ラスパイレス指数という言葉をご存知でしょうか。(次ページ上段、左の表)

(1-2) 島根大学職員のラスパイレス指数についての現状をご存知でしょうか。(同、右の表)

知っている 24.0%	松江	教員	10.2%	
		職員	9.2%	
	出雲	教員	1.2%	
		職員	3.8%	
	聞いたことがある 21.9%	松江	教員	8.1%
			職員	6.7%
出雲		教員	2.1%	
		職員	4.6%	
知らない 54.1%	松江	教員	7.3%	
		職員	8.8%	
	出雲	教員	10.6%	
		職員	27.3%	

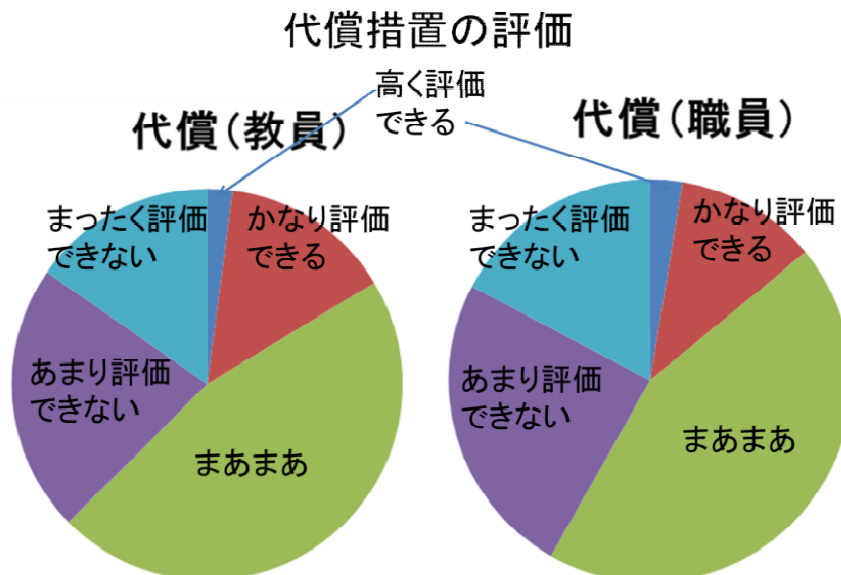
知っている 13.2%	松江	教員	6.0%	
		職員	6.0%	
	出雲	教員	0.4%	
		職員	1.0%	
	聞いたことがある 14.7%	松江	教員	6.4%
			職員	5.1%
出雲		教員	0.4%	
		職員	2.7%	
知らない 72.1%	松江	教員	13.2%	
		職員	13.8%	
	出雲	教員	13.0%	
		職員	31.9%	

ラスパイレス指数について、「知らない」という回答が圧倒的に多い結果となりました。特に出雲地区の回答結果は、松江地区と比べて「知らない」という回答の比率が顕著に高くなり、島根大学職員の給与水準がラスパイレス指数からみて低いことがあまり認識されていないことがわかります。

3. 臨時特例賃下げの代償措置の評価

大学当局から提案された代償措置は、「まあまあ」も含めて一定割合の教職員からある程度は評価されました。しかし「評価できない」という声もかなり多いこともわかりました。この結果は、松江地区と出雲地区の間で差は認められませんでした。

また自由記述欄には、仕事へのモチベーションの低下を訴える声が多数寄せられました。詳細はホームページをご覧ください。



4. 子育て支援について

	松江		出雲	
	女性	男性	女性	男性
十分である	2%	2%	5%	5%
ある程度整っている	21%	12%	58%	52%
どちらともいえない	42%	40%	29%	31%
どちらかといえば不十分である	26%	29%	6%	3%
不十分である	9%	17%	2%	10%

アンケートの参考資料に出雲地区のサポート体制についての紹介があったためか、松江地区と出雲地区の間で評価の差が顕著となりました。「どちらかといえば不十分」と「不十分である」を合わせると、松江地区が男女とも30%以上なのに対し、出雲地区では10%前後でした。その一方で、もっと支援を充実させることを望む記述は、松江地区だけでなく、出雲地区からも出されています。

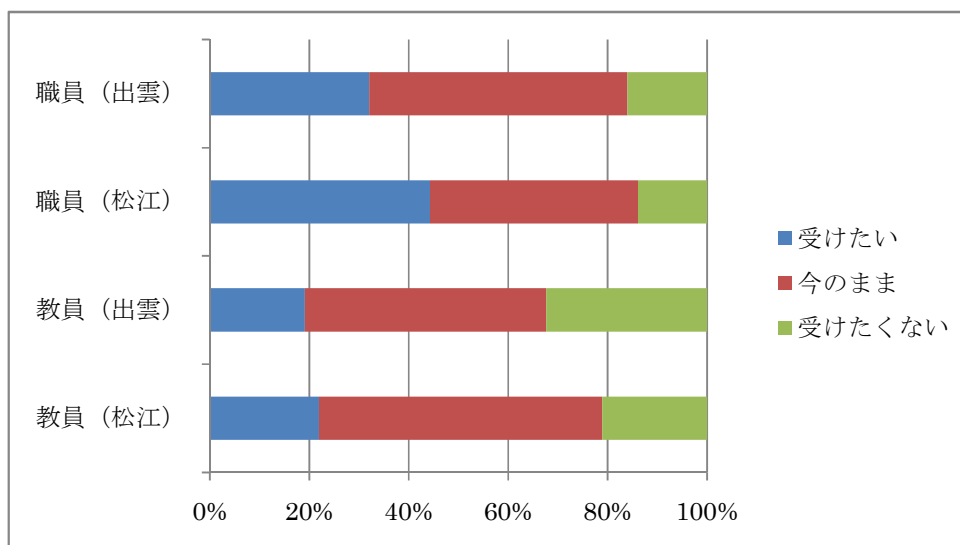
5. 健康診断の検査項目について

	教員		職員	
	松江	出雲	松江	出雲
検査項目を増やしてほしい	39%	45%	23%	25%
今のままでよい	54%	48%	76%	71%
その他	7%	6%	1%	3%

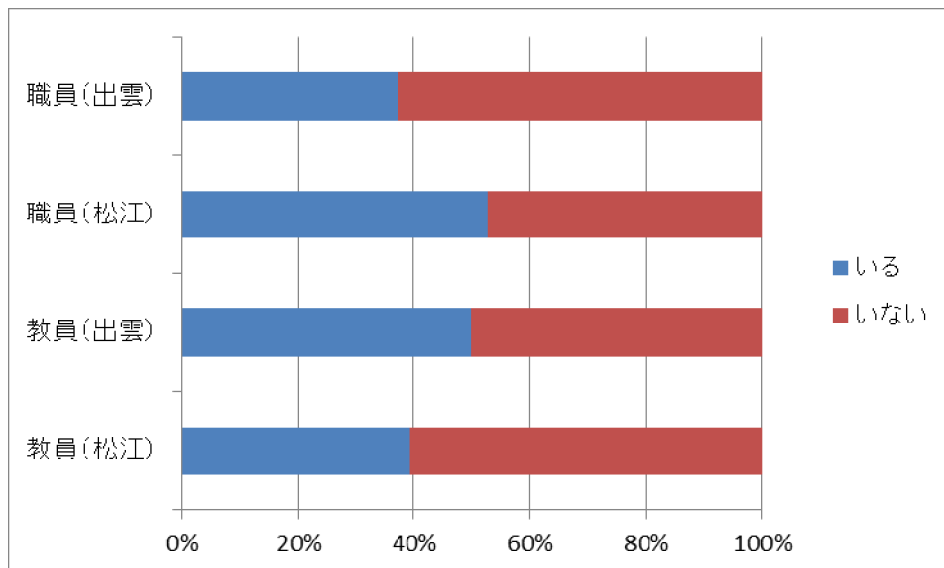
松江地区・出雲地区ともに、教員は「検査項目を増やしてほしい」という回答が多数になり、職員は「今のままでよい」との回答が多くなりました。血液検査は出雲地区では20代から行われているようなので、松江地区からは血液検査の要望が出されています。自由記述によれば、松江地区では増やしてほしい検査項目は血液検査であり、出雲地区はがん検診やエコーなどでした。

6. メンタルヘルスチェックについて

(3-1)メンタルヘルスの検診があれば受けてみたいと思いますか。



(3-2)メンタルヘルスの検診があれば、受けたほうがよいのではないかと思う同僚が周りにいますか。



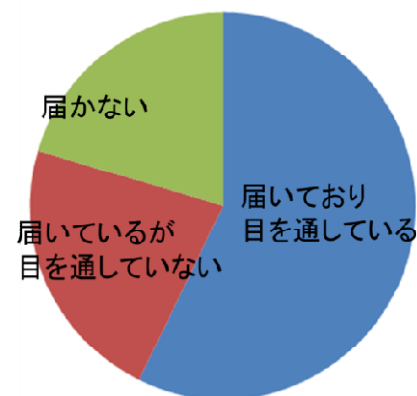
松江地区の職員は、「メンタルヘルスチェックを受けたい」、または「受けさせたい同僚がいる」と答えた割合が高くなりました。また自由記述では、メンタルヘルスケアの必要を認める声も多かったのですが、その一方で、大学内で行うことについては、「秘密保持が担保されるのか」や「個人情報がどういう管理をされるのか」といった懸念の声もみられました。

この点については、外部の相談機関で受診できるチケットを配布している企業もあり、そのようなサービスを考慮してはどうかとも考えられます。さらに、これだけの割合の職員がメンタルヘルスチェックを受けたいと考えている現状を鑑みると、メンタルヘルスの悪化を予防する取り組みも必要と考えられます。

7. 組合の広報活動について

① ニュースが届いているか？

半数以上の方はニュースが届いていると答えています。



② 広報活動の評価

「まあまあ」という評価が多数でした。組合としてもできるだけ情報を提供していきたいところですが、時間的な制約から十分な情報提供ができていないところもあるのが実情です。

